

2017年度
平成29年度

第8期
事業報告書

2018.6.22

2011年の、東日本大震災による寄付への関心・意識の高まりや、「市民公益税制」の整備、そして2012年の、内閣府の基金事業「新しい公共支援事業」をきっかけとする市民コミュニティ財団設立の動き、またクラウドファンディングの浸透など、寄付や社会貢献への意識や期待は高まっています。2014年には、市民コミュニティ財団の全国組織である一般社団法人全国市民コミュニティ財団協会が設立しました。

2017年度は、NPO等市民公益活動団体への支援プログラム「寄付と助成のプログラム」に加え、地域円卓会議の取り組みも年間16回実施しました。また、東近江市、千葉県、静岡県、佐賀県、においても沖縄式地域円卓会議の手法をお用いて地域課題の共有の取り組み、広がりを見せています。また、遺贈寄付の取り組みを広げることから、全国レガシーギフト協会とともに遺贈寄付研修（NPO向け、土業向け）を沖縄県で初めて開催した。遺贈寄付が安心して行われるよう環境整備に取り組む。

2016年12月9日には休眠預金活用法案も成立し、2019年秋口に一号案件への助成に向けて動き出しました。社会的投資の視点で国や企業、社会の資金の活用が図られる一方でその成果も厳しくみられ、社会インパクト評価として、評価軸の模索が始まっています。

社会環境が大きく変化した年でしたが、本年度も当財団は、地域の困りごとを解決するための基金として、企業や個人の寄付を解決に取り組むところへ届けました。

組織理念：みらいファンド沖縄のミッションとビジョン

社会の共感を育て、資金の循環を促す仕組みの構築

当法人は、沖縄における公益活動団体と、公益活動を支えたい企業、団体、個人等とを橋渡しするため、市民活動の社会的基盤の充実を図り、諸資源の循環をもたらすことで、地域のあらゆる主体が公益を担い、沖縄の未来を支え合う社会の実現に寄与することを目的とする。
(定款第3条)

情報流通

市民活動の情報発信を促進し、
市民の“共感”を育む

公益ポータルサイトの運営
ソーシャル・ヒトワク
広報誌等による情報発信
県内外の寄付文化に関する情報収集と発信

資金循環

“共感”による寄付で、市民活動
団体が自律的かつ継続的に活動
できる環境づくりをめざす

市民活動を支援する基金の運営
市民活動団体への寄付と助成のプログラム提供
寄付文化を醸成するフォーラム等の開催
他機関の助成プログラム等の支援
企業CSR/CRMの促進

組織概要

名称  公益財団法人
みらいファンド沖縄

英名 Mirai Fund Okinawa Inc. Foundation

設立年月日 2010年4月23日

公益認定日 2011年4月1日

事業年度 毎年4月1日～翌年3月31日

代表理事 小阪 亘

設立経緯 財団設立供出金300万円を
93名の市民から寄付を頂いて設立

住所 〒903-0824
沖縄県那覇市首里池端町34 2Fタイフーンfm内

加盟団体 一般社団法人全国コミュニティ財団協会
一般社団法人全国レガシーギフト協会

みらいファンド沖縄は、市民のみなさまからの寄付により、設立した「市民立」の財団です。

沖縄の公益活動団体を意志ある人々によって支え合う——みらいファンド沖縄の設立趣意に共感し、設立時拠出金をご寄付くださいましたみなさまに、感謝申し上げます。



設立時拠出金に寄付くださったみなさま

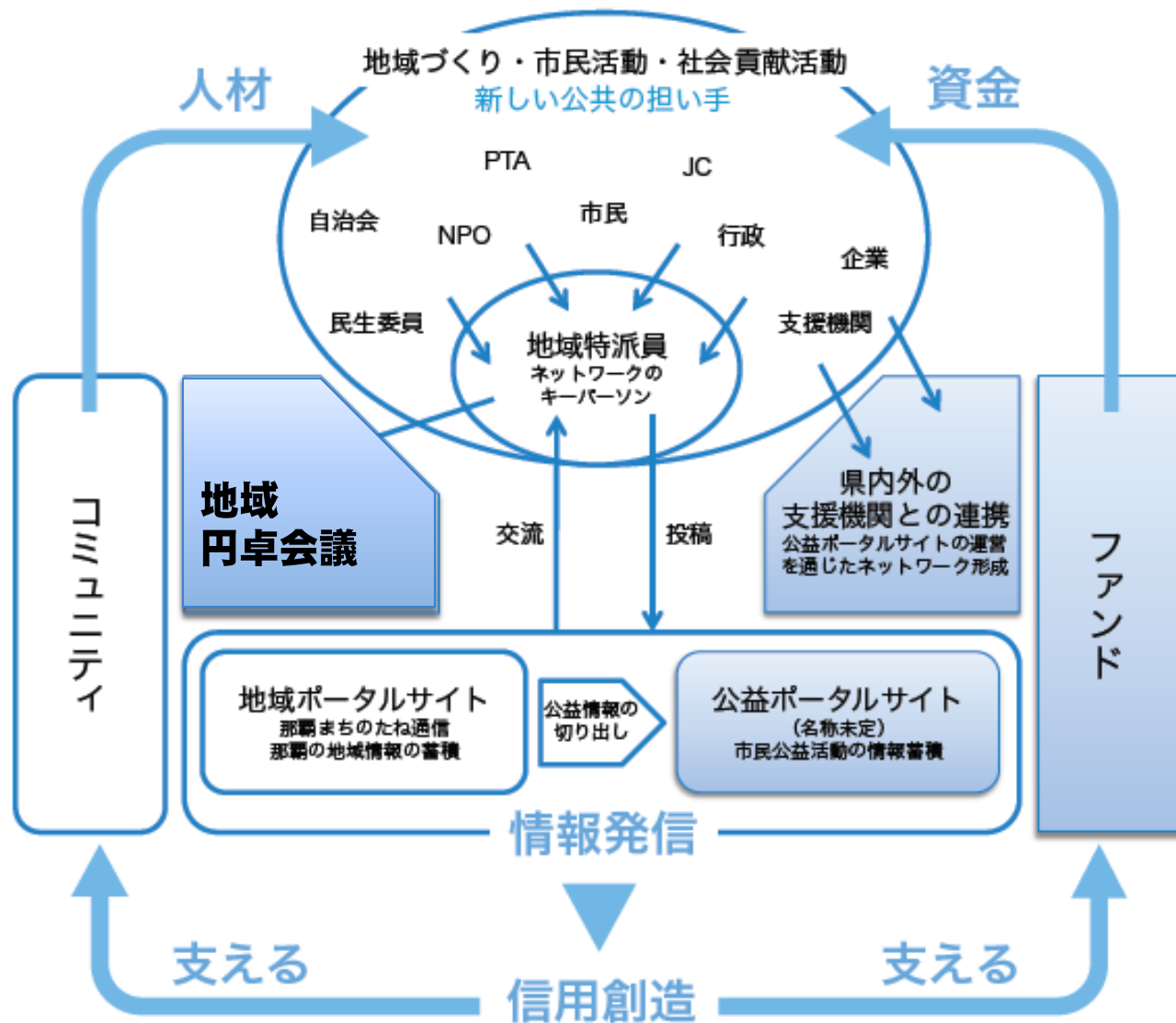
(五十音順・敬称略)

秋葉 武 新井 裕子 新垣 八重子 (有) 新垣ちんすこう菓子店
有井 安仁 東濱 克紀 認定NPO 法人アンビシャス
石原 達也 今津 新之助 岩田 直子 (株) エフエム那覇
(株) エフエム21 遠藤 聡志 大城 逸子 大城 喜江子
大城 幸代 大城 成信 大城 武久 大見謝 恒章
NPO 沖縄シニアの会 川北 秀人 菊之露酒造 (株) 金城 嘉志
金城 和光 (株) クレイ沖縄 古我知 浩 小阪 亘 小橋川 繁
小松 かおり 呉屋 貴司 佐久間 愛弓 下地 美香
(特活) 首里まちづくり研究会 佐脇 広平 新開 育恵
新星出版 (株) 杉浦 幹男 関口 宏聡
税理士法人添石総合会計事務所 添石 幸伸
(特活) ソーシャル・デザイン・ファンド 平良 斗星 平良 恵津子
地域情報エージェント (株) 知花 茂 知念 金徳
(特活) ちゅらしまフォトミュージアム 當間 愛晃 戸田 幸典
渡真利 雅男 仲村 一真 中村 聡 (特活) 日中文化交流センター
比嘉 司 平井 雅 福岡 智子 前田 比呂也 真喜屋 光子
(特活) まちなか研究所わくわく 松本 哲治 宮里 大八
宮道 喜一 宮島 さおり 米野 史健 山城 岩夫 山城 司
与儀 隆一 與古田 清順 (特活) ライフサポートてだこ
(有) ルーツ 若尾 貴広 若尾 美希子 渡邊 真寿美
匿名にて寄付くださった方々

(合計 93 名、300 万円)

みらいファンド沖縄事業スキーム (2010 ⇒ 2017)

社会の共感を育て、資金の循環を促すしくみの構築に取り組む

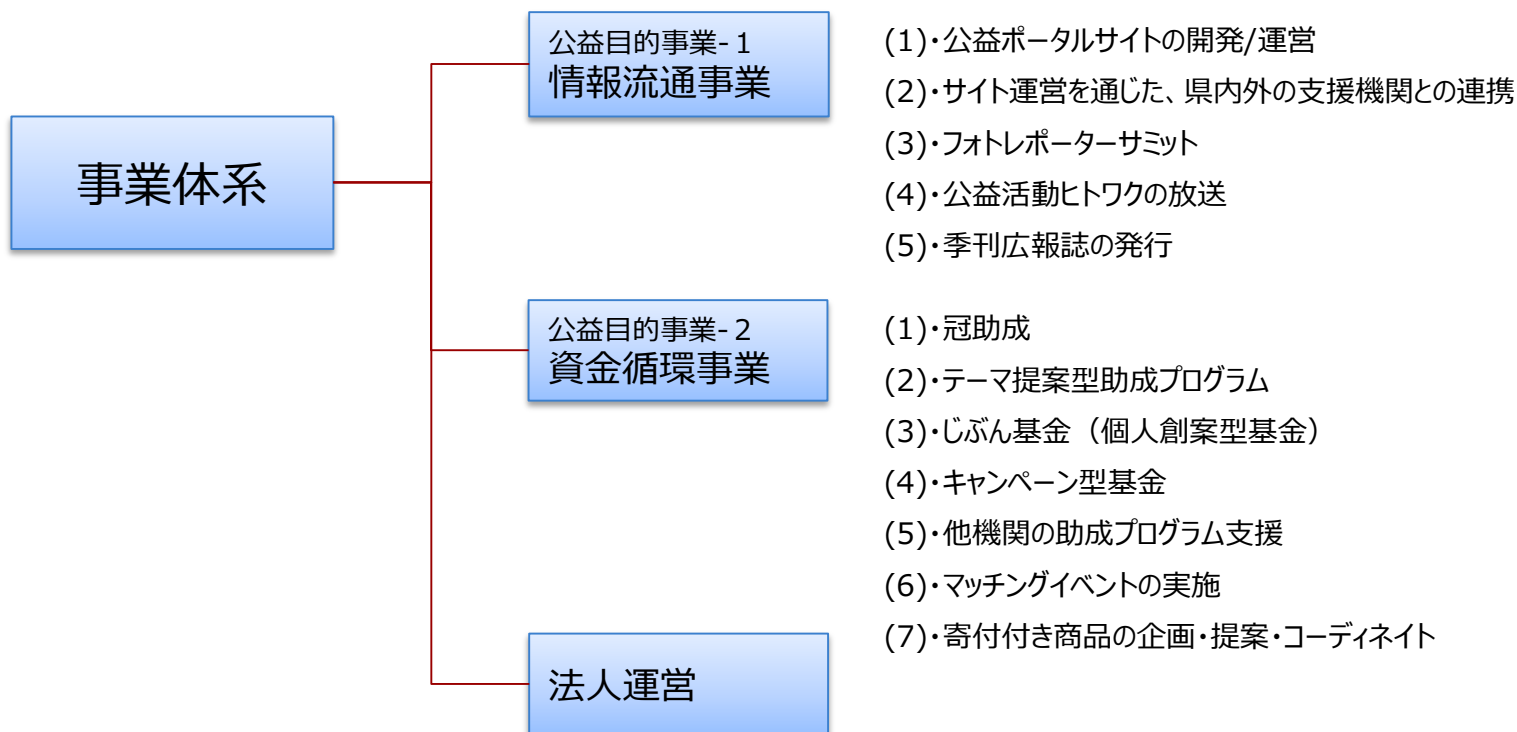


2017年度事業

当財団は、市民コミュニティ財団として公益法人格を有して、以下の公益目的事業を実施する。

コミュニティ財団とは、地域の人々によって設立され、地域のために活動する慈善事業組織です。この組織は、地域からの寄付によって成り立ち、市民によって構成される理事会によって運営され、地域社会のより良い暮らしのために活動しています。資金源は多種多様であり、地域社会の長期的な生活の質の向上のために活用されています。これらの資金は地域社会の代表の選択により各種組織・目的に向けて配分されます。

(全国コミュニティ財団協会資料より抜粋)



2016年度の受入寄付額 29,679,412円 (74件)
前年度比 -9,839,582円 (0件)

基金

寄付総額 19,839,830円 (74件)

- 2017年度内の採択：第10期たくす 3事業
カスタマイズ 1事業
- 沖縄まちと子ども基金、
- じぶん基金：新崎盛暉平和活動奨励基金

寄付月間2017 沖縄パネル展の開催

- 沖縄県庁1階ロビーにて開催 (12月19日～28日)
参加：NPO6 民間5 沖縄県3
寄付月間2017 賛同パートナー特別賞 沖縄県が受賞



寄付月間2017
沖縄県広報誌
美ら島沖縄
12月号
特集寄付月間

助成

「寄付と助成のプログラム」採択が通算26事業に

- じぶん基金：新崎盛暉平和活動奨励基金 助成実施 2名
- たくす 第9期 2団体
たくす 第10期 3団体
寄付募集目標総額 10,336千円 前年度受付寄付総額 631千円



新崎盛暉平和活動奨励基金 第1回
交付式 2017. 6.16 八汐荘

課題 解決

地域円卓会議が好評！ 16回開催・支援

- 開催場所 (那覇市、石垣市、宮古島市、うるま市など)
- テーマ (子どもの貧困、若者の定着と働く場所など)
- 沖縄子ども未来県民会議より5本の円卓会議を受託

コレクティブインパクト事業の実施

- 全国コミュニティ財団協会委託事業で
- 認知症みまもり自販機 ・ 子どもの貧困

遺贈寄付研修・助成財団シンポジウムを開催



若者の定着と働き方を考える地域円卓会議
in 宜野座村2017.2.27



沖縄県広報誌 美ら島沖縄 12月号 特集 寄付月間



美ら島沖縄

内容：寄付月間特集

- ・ 県内の寄付の状況
- ・ 寄付の方法
- ・ 寄付月間事務局長 鶴尾さん
メッセージ
- ・ 寄付活用 わらびの会活動紹介

沖縄県庁職員による フードドライブ



贈呈式の様子

期間：12月18日（月）～ 22日（木）
場所：沖縄県プラザ（受取窓口）
内容：食料60キロ
贈呈先
NPO法人フードバンクセカンド
ハーベスト沖縄

寄付月間パネル展 沖縄県庁1階ロビー



県庁1階ロビーパネル展

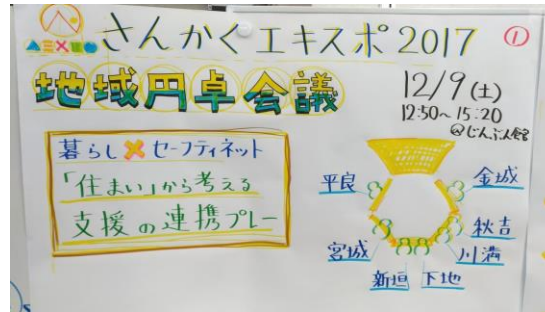
期間：12月18日（月）～ 28日（木）
場所：沖縄県1階ロビー

参加団体

- NPO 7団体
- 企業 4団体
- 行政 1団体



暮らし×セーフティネット 円卓会議の実施



円卓会議開催セミナー



「住まい」から考える支援の連携 プレー円卓会議

日時：12月9日（土）12:15～14:45

場所：具志川じんぶん館

着席者

- ・金城隆一（NPO法人沖縄青少年自立援助センター）
- ・秋吉晴子（しんぐるまざあず・ふぉーらむ沖縄）
- ・新垣優美（株式会社LIFULL）
- ・川崎孝幸（沖縄県子ども未来政策課）
- ・下地雅美（株式会社レキオス）
- ・宮城 潤（若狭公民館館長）

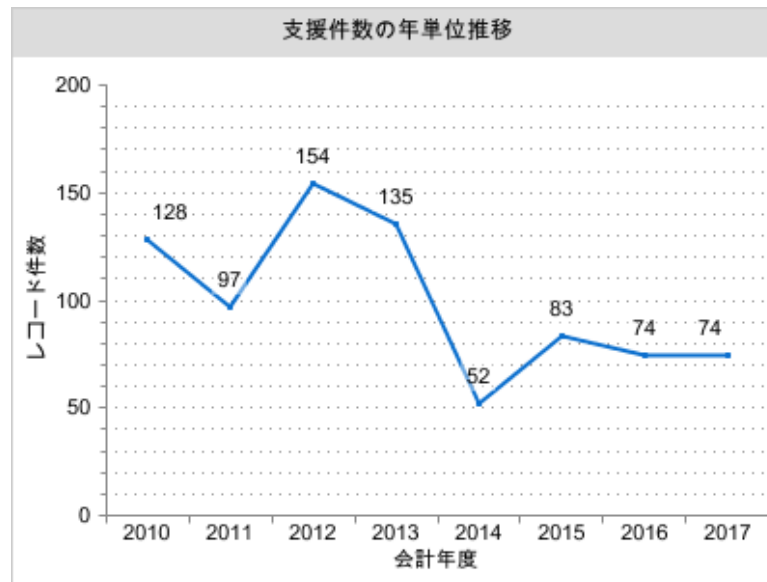
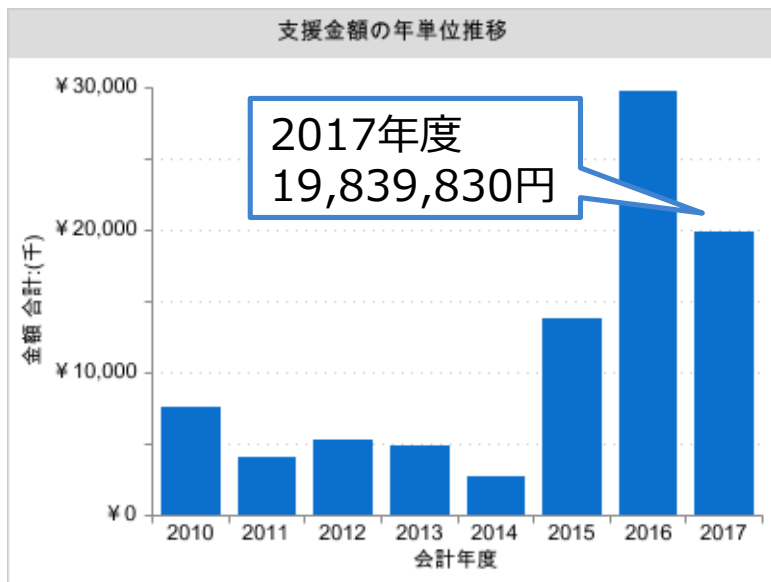
司会進行：平良 斗星

（公益財団法人みらいファンド沖縄）

記録者：宮道 喜一

（NPO法人まちなか研究所わくわく）

寄付金額と件数の推移 (2018.3現在)と2017年度の方針



寄付金額

87,839,405円

延べ寄付者数

797件

2017年度は下記方針で取り組んだ

2017年度 方針

- ◆ 地域円卓会議の取り組みを通じて、課題解決へ向けての取り組みを行う
- ◆ 寄付者が解決したい課題に対して、じぶんの基金が作れるじぶん基金の仕組みを広げる
- ◆ 遺贈寄付の受入体制をつくる（2015年度1件1,000万円実績有）
- ◆ 市民コミュニティ財団ガイドラインに基づく組織運営

2017年度の概況

沖縄の寄付文化醸成のために、2014年6月に一般社団法人全国コミュニティ財団協会を設立し、2017年度で、正会員17団体、準会員8団体と年々増加傾向にあります。当財団は九州ブロック理事として参画し、全国におけるコミュニティ財団の信頼性の向上と政策提言、環境整備に努めています。

一般社団法人レガシーギフト協会にも加盟し、遺贈寄付の環境整備に取り組んでいく。今年度は、遺贈寄付研修を沖縄で初めて開催しました。

12月には、全国で寄付を推進する月間として、「寄付月間Giving December 欲しい未来へ、寄付を送ろう」が行われた。当財団も寄付月間推進委員として沖縄での推進に取り組み、沖縄県とともに県庁ロビーで寄付月間パネル展を開催した。寄付月間2017 賛同パートナー特別賞 沖縄県が受賞しました。

「公1 情報流通事業」は依然として資金の調達が難しい構造になっており、新しい事業資金の調達方法を考えていく必要があると考える。

公1 情報流通事業 実施した事業

区分	事業名	実施時期	事業の概要
公1 -(1)	公益ポータルサイトの運営	通年	2016年度法人ウェブページをリニューアル 公益活動団体の信頼を育む情報発信をインターネット上で行う。 NPOデータベース登録数：現在335団体 年間閲覧数： ページビュー23,304（昨年度18,657）24.91%増
公1 -(2)	他機関連携・情報収集	—	<p>全国の動向を知り、沖縄での寄付文化醸成に寄与するため、各機関の研修やフォーラムへ参加した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おきなわ市民活動支援会議へ参加（月1回） ・全国コミュニティ財団協会（以下全コミ財）へ参加 <ul style="list-style-type: none"> 6/06 第1回 集合研修（京都） 7/09 第1回 九州ブロック会議（長崎） 8/23 第2回 集合研修（愛知） 10/1 第2回 九州ブロック会議（福岡） 10/5 第3回 集合研修・監事研修（岡山） 12/14 第4回 集合研修（東京） 12/16 コレクティインパクトin九州（佐賀） 2/07 年次大会（東京） 2/24 第3回 九州ブロック会議（佐賀） 3/08 監事研修（大阪） ・全国レガシーギフト協会 ・寄付月間Giving December 欲しい未来へ、寄付を送ろう ・寄付月間推進委員 ・委員：沖縄子ども未来応援県民会議 委員（小阪）



公1 情報流通事業 実施した事業

区分	事業名	実施時期	事業の概要
公1 -(4)	ソーシャル・ヒトワクの放送	通年 再放送あり	NPOの活動紹介と、NPOの活動を紹介するトーク番組をタイフーンfm（78.0MHz）で放送した。 NPOヒトワク- 放送回数14回 （2010年度からの通算177回）
公1 -(5)	広報誌の発行	2月	みらいファンド沖縄活動報告書の発行は行えなかった
公1 -(5)	メールニュースの発行	通年	イベントや助成金の情報、mfoの支援NPOの紹介等を行うメールニュース及びFBで情報発信を行った。イベント直前等に臨時号を発行している。

公2 資金循環事業

2017年度の概況


「寄付と助成のプログラム」では第9期が寄付募集活動支援期間が終了し、第10期は、3事業が採択され寄付募集を行っている。また、寄付と助成のプログラムたくすの高額寄付募集として、カスタマイズ（募集期間・手数料が異なる）を行い、今年度も寄付募集を継続し多額の寄付を寄せていただいています。

じぶん基金の一つである新崎盛暉平和活動奨励基金では、助成の実施から事業報告会まで実施した。助成個人名称を冠したDAF（ドナー・アドバイズド・ファンド）の創設に引き続き力を入れていきます。

今年度は公2 - (5) 他機関の助成プログラム支援に取り組むことが出来ました。助成財団センターとともに、沖縄地域の助成プログラム担当者向けセミナーを開催し、各助成プログラムの向上に貢献することができました。

マッチングイベントでは、2010年度より開催を重ねてきた「地域円卓会議」は引き続き好評で、2017年度は16回開催した。また、全国コミュニティ財団協会より、コレクティブインパクト事業を受託。認知症見守り自販機と子どもの貧困に取り組んだ。

公2 資金循環事業 実施した事業

区分	事業名	実施時期等	事業の概要
公2 - (1)	世界若者ウチナンチュ大会支援基金	2012年6月設置	<p>世界若者ウチナンチュ大会ペルー大会 日時：2018年2月6日～10日 助成：34,000円</p> <p>基金の今後の展開については、今後も継続することが確認された。</p>
公2 - (1)	沖縄まちと子ども基金 	2012年12月設置	<p>第3期報告会の開催 日 時：2018年3月23日（金）19時～21時（開場18時30分） 場 所：天久ヒルトップ「地域交流室」 （那覇市天久1126天久台病院敷地内） 参加者：約20名（報告者込み）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 開会の挨拶と当基金の説明 2. 報告1 糸数温子さん（一般社団法人ダイモン 代表理事） 「NPO×大学協働<働くつながる>事業モデルの構築」 3. 報告2 上間 陽子さん（琉球大学 教育学研究科 教授） 「若年出産者聞き取り調査」 4. トークセッション 報告者4人（しんぐるまざあず・ふぉーらむ秋吉さん、琉球大学野入先生）にみらいファンド沖縄の平良副代表理事を加え、子供の育つ理想の環境とそれを阻む課題に関するトークセッションが行われた。 5. 沖縄まちと子ども基金寄付のお願い

公2 資金循環事業 実施した事業

区分	事業名	実施時期等	事業の概要
公2 -(2)	寄付と助成のプログラム 第9期たくす	寄付募集支援期間 2016年9月～ 2017年8月	第9期たくす 2016年9月～2017年8月 採択団体：2団体 ・NPO乳がん患者の会 ぴんく・ぱんさー ・琉球フィルハーモニー管弦楽団 寄付受入総額 1,410,000円 助成総額 1,198,500円
公2 -(2)	寄付と助成のプログラム 第10期たくす	寄付募集支援期間 2017年9月～ 2018年8月	募集期間：2017年7月21日～8月18日 対象事業募集 説明会 日時：2017年8月3日（木）19:00～20:00 場所：天久ヒルトップ 相談室 選考会： 日時：2017年8月31日（木）15:00～17:00 場所：みらいファンド沖縄事務所 採択団体：3団体 ・NPO乳がん患者の会 ぴんく・ぱんさー ・琉球フィルハーモニー管弦楽団 ・NPO法人一万人井戸端会議 寄付募集目標総額 4,705,800円

公2 資金循環事業 実施した事業

区分	事業名	実施時期等	事業の概要
公2 -2)	寄付と助成のプログラム たくす カスタマイズ	寄付募集支援期間 第1期 2015年12月～ 2016年11月 第2期 2016年12月～ 2017年11月 第3期 2017年～ 2018年12月	寄付と助成のプログラムたくすのカスタマイズ 高額寄付募集のため、・期間（寄付募集、助成） ・手数料 以外は、通常版とは異なるが、それ以外は寄付と助成のプログラムたくすと同じ仕様 採択団体：特定非営利活動法人 アルコール・薬物依存症リハビリセンター琉球GAIA 寄付募集目標総額：60,000,000円 件数：24件 寄付総額：49,811,000円（2018年3月31日現在）
公2 -2)	寄付と助成のプログラム たくす カスタマイズ	寄付募集支援期間 2015年9月～	申請団体：一般社団法人長生楽 選考会： 日時：2017年12月19日（木）18:30～19:30 場所：みらいファンド沖縄事務所 採択結果：条件付き採択

公2 資金循環事業 実施した事業

区分	事業名	実施時期等	事業の概要
公2 -(3)	じぶん基金（個人創案型基金） J003 宮里大八国際交流基金	寄付募集支援期間 2015年9月～	Okinawan Dreams Project2017 沖縄における児童養護施設やひとり親の家庭の子どもたちを対象に、英語によるコミュニケーションを学び、海外留学体験をサポートするプログラム。 募集期間：2017年6月12日（月）～7月8日（土） 助成決定数：3人 / 応募総数26人 寄付総額は、305,000円
公2 -(3)	じぶん基金（個人創案型基金） J004 新崎盛暉平和活動奨励基金	2017年1月設置	沖縄の歴史を踏まえ、沖縄の平和と人権を守り、沖縄を世界の平和の拠点とする市民の創造的実践活動、研究活動を助成することを目的として、この基金を設置します。 寄付金額：1,000,000円 募集期間：2017年3月1日（水）～4月30日（水） 助成交付式 日時：2017年6月16日 場所：八汐荘 採択者 宮城秋乃さん（基地建設の沖縄自然環境への影響を伝えている） 河村雅美さん（The Informed-Public Project（IPP）代表） 助成報告会 日時：2018年3月5日 場所：八汐荘

* 公2-(4)キャンペーン型基金については当年度は実施していない

公2 資金循環事業 実施した事業

区分	事業名	実施時期	概要と事務局所感
公2 -(1~3)	以上の基金・プログラムのファン ドレイジング等の支援に関する業 務	1月	<p>NPO向け遺贈寄付入門研修 日 時：2018年1月22日（月）13:30～17:00 場 所：沖縄県総合福祉センター4階 402会議室 参加者：19名</p> <p>士業等専門家向け遺贈寄付アドバイザー研修in沖縄 日 時：2018年1月22日（月）10:00～17:00 場 所：沖縄県総合福祉センター4階 401会議室 参加者：9名</p> <p>講 師： 樽本 哲（弁護士 赤坂シティ法律事務所・NPOのための 弁護士ネットワーク） 本郷順子（本郷順子税理士事務所） 齋藤弘道（野村信託銀行株式会社） 山北洋二（日本ファンドレイジング協会 理事）</p>
公2 -(5)	助成担当者セミナー	11月	<p>助成担当者のための実務セミナーin沖縄 講 師：渡辺 元（（公財）助成財団センター 事務局長/プログラムディレクター） 日 時：2017年11月17日（金）14:00～17:00 場 所：天久ヒルトップ 地域交流室 参加者：23名</p>
公2 -(5)	助成財団シンポジウム	11月	<p>助成財団シンポジウムin沖縄 基調講演：松原 明（シーズ=市民活動を支える制度をつくる会） 日 時：2017年11月18日（土）13:00～18:00 場 所：沖縄大学アネックス共創館 参加者：42名（+関係者22名）</p>

公2 資金循環事業 実施した事業

区分	事業名	実施時期等	事業の概要
公2 -(6)	地域円卓会議の開催・支援	通年	地域の社会的課題の解決のための対話の場である「地域円卓会議」の開催・支援を行った。 地域円卓会議：16回 参加人数：538名

	日付	内容	主催	参加人数
1	6/2 (金)	シングルマザーと子どもの貧困を考える地域円卓会議	みらいファンド沖縄	34名
2	7/11 (火)	沖縄子どもの未来県民会議地域円卓会議 in南部 (那覇)	沖縄県、 沖縄子どもの未来県民会議	66名
3	7/19 (水)	in中部 (うるま市)		64名
4	11/9 (木)	in石垣		37名
5	11/28 (火)	in宮古島		60名
6	3/14 (水)	in那覇		52名
7	8/2 (水)	若者の定住と働き方を考える地域円卓会議 in宜野湾市		国立大学法人 琉球大学 地 域連携推進機構、 公立大学法人 名桜大学
8	9/1 (金)	in西原町	37名	
9	1/11 (木)	in中城村	26名	
10	12/21 (木)	in金武町	24名	
11	10/24 (火)	沖縄の移住定住を考える 地域円卓会議 in石垣市	沖縄県 企画部地域・離島課	
12	10/25 (水)	inうるま市		
13	10/26 (木)	inやんばる		
14	12/3 (土)	カーミージー周辺の海を みんなで保全・活用するための地域円卓会議	うらそえ里浜ネットワーク 実行委員会	60名
15	1/28 (日)	孤立と向き合う地域づくりを考える地域円卓会議	NPO法人1万人井戸端会議	21名
16	3/4 (日)	子どもシェルター地域円卓会議	みらいファンド沖縄	23名

公2 資金循環事業 実施した事業

区分	事業名	実施時期	概要と事務局所感
公2 -(6)	コレクティブインパクト事業	通年	<p>全国コミュニティ財団協会から助成をいただき、コレクティブインパクトで社会課題解決を行う事業に取り組む</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症みまもり自販機 ・子どもの貧困問題の解決
公2 -(6)	寄付月間2017	12月	<p>寄付月間パネル展の実施 期間：2017年12月19日（月）～12月28日（水） 場所：沖縄県県庁1階ロビー 参加：NPO6 民間5 沖縄県3</p> <p>沖縄県広報誌 美ら島沖縄 12月号 特集 寄付月間</p> <p>寄付月間2017 賛同パートナー特別賞 沖縄県が受賞</p>
公2 -(6)	各種勉強会の開催	随時	地域円卓会議体験セミナー

その他（法人運営等）

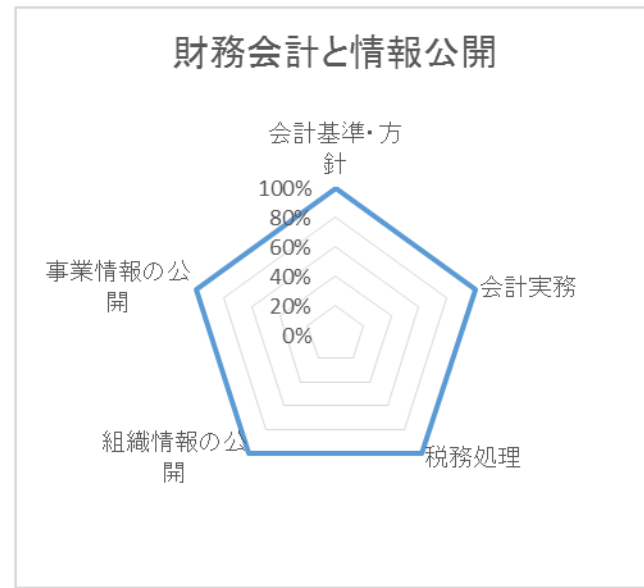
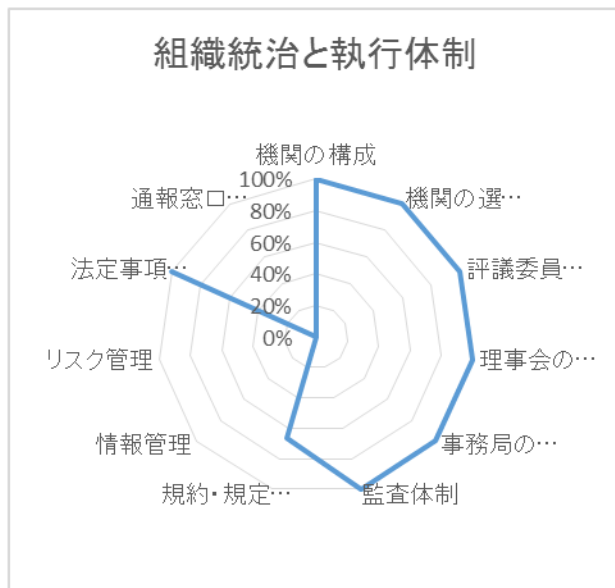
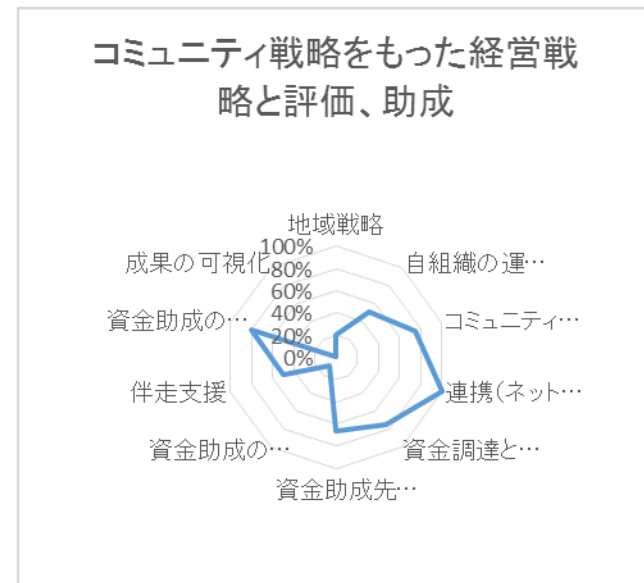
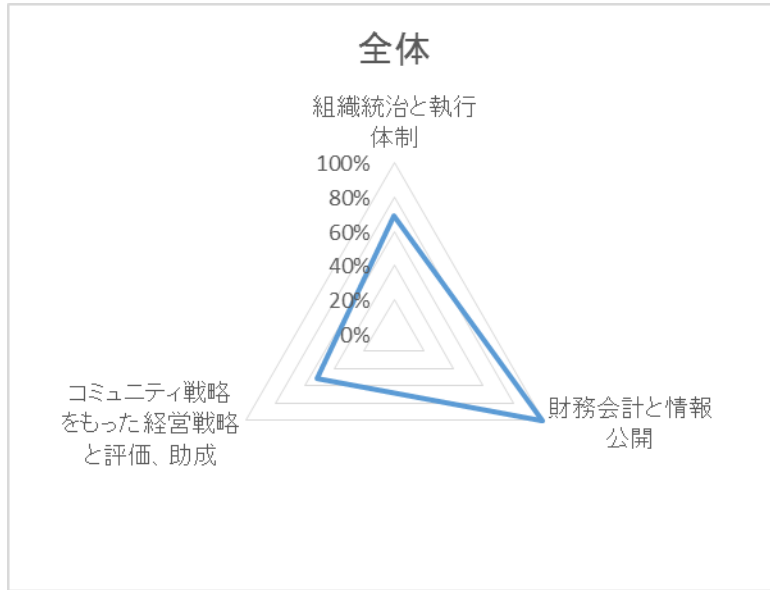
2017年度の概況

法人運営体制について、現在の収入規模に応じた効率的な運営に努め、昨年度に引き続き単年度黒字を達成することができた。一方で年間寄付金額は19,839,830円となり、昨年度に引き続き多額のご寄付をいただくことが出来た。基本財産として300万円を回復した。

また、コミュニティ財団ガイドライン（発行：全国コミュニティ財団協会 2016）に基づき運営を行うためセルフチェックを実施した。

区分	事業名	実施時期	概要と事務局所感
法人	定期評議員会の開催	5月	期間：2017年5月25日（木）10:30～12:00 場所：みらいファンド沖縄 事務所
法人	理事会の開催	通年	第1回 2017年5月16日（火）10:00～12:00 第2回 2017年11月7日（火）13:00～15:00 第3回 2018年2月22日（木）10:00～12:00 第4回 2018年3月22日（木）13:30～15:30 第5回 2018年3月29日（木）18:30～24:00 場所：みらいファンド沖縄 事務所
法人	事務局体制	随時	毎週木曜日10時 定例会を常務理事にて実施 職員：新城やよい（週1回勤務） 会計業務：大城税理士事務所に委託

コミュニティ財団ガイドラインによるセルフチェック結果



役員一覧

評議員（任期（4年）：2014年5月22日～2018年評議員会まで）

役職	氏名	所属
評議員	イガキ ジュンイチ 稲垣 純一	沖縄電子ビジネス専門学校 理事
評議員	イマツ シンノスケ 今津 新之助	有限会社ルーツ 代表取締役
評議員	キンジョウ ワコウ 金城 和光	株式会社沖縄ヒューマンキャピタル 代表取締役
評議員	タバタ ハルヨ 田端 温代	
評議員	マキヤ ミツコ 真喜屋 光子	有限会社センチュリー経営企画（マキの靴）代表取締役
評議員	クラオカ タイキ 倉岡 大樹	株式会社ディスカバーウェディング 代表取締役社長

理事（任期（2年）：2016年5月26日～2018年評議員会まで）

役職	氏名	所属
理事 代表理事	コサカ ワタル 小阪 亘	特定非営利活動法人まちなか研究所わくわく 代表理事
理事 副代表理事	タイラ トセイ 平良 斗星	株式会社エフエム那覇 会長
理事	ミヤザト ダイヤ 宮里 大八	琉球大学 地域連携推進機構 特命准教授
理事	テルキナ トオル 照喜名 通	沖縄県難病相談支援センター 認定NPO法人 アンビシャス 副理事長
理事	チネン タツヒコ 知念 忠彦	医療法人天仁会 天久ヒルトップ 施設長

監事（任期（4年）：2014年5月22日～2018年評議員会まで）

役職	氏名	所属
監事	ナンロ ヨシエ 名城 佳枝	大学非常勤講師、ファイナンシャルプランナー、沖縄県金融広報アドバイザー
監事	ヤマザキ アラタ 山崎 新	株式会社おきなわedu 取締役

受入れ寄付額と助成の実績（2010-2017）

		受入寄付 年度達成額	受入寄付 累積達成額	助成金交付 年度実施額	備考
2010 (第1期)	立上期 財団機能 基盤構築	9,197,780円	9,197,780円	5,755,250円	・受入寄付額には拠出金を 含む ・震災関連寄付を含む
2011 (第2期)		3,824,684円	13,022,838円	2,427,218円	・受入寄付額にはみらい ファンド沖縄への寄付を含 む ・震災関連寄付を含む
2012 (第3期)	助成プログラ ム・円卓会議 の確立	5,170,037円	18,194,341円	3,709,315円	・受入寄付額にはみらい ファンド沖縄への寄付を含 む
2013 (第4期)		4,920,777円	23,115,118円	2,383,834円	・受入寄付額にはみらい ファンド沖縄への寄付を含 む
2014 (第5期)		2,760,362円	25,875,480円	2,549,919円	・受入寄付額にはみらい ファンド沖縄への寄付を含 む
2015 (第6期)	FR機能の 強化・確立	12,718,093円	38,593,573円	1,745,517円	・受入寄付額にはみらい ファンド沖縄への寄付を含 む
2016 (第7期)		29,679,412円	68,272,985円	1,325,250円	・受入寄付額にはみらい ファンド沖縄への寄付を含 む
2017 (第8期)		19,839,830円	87,839,405円	3,287,547円	・受入寄付額にはみらい ファンド沖縄への寄付を含 む

略年表 (2009-2013)

年度	みらいファンド沖縄の主なできごと	社会の主なできごと
2009 H21	<ul style="list-style-type: none"> •キックオフフォーラム 	<ul style="list-style-type: none"> •衆議院選挙で民主党圧勝 •裁判員制度施行
2010 H22	<ul style="list-style-type: none"> •法人設立 •那覇市「地域づくり・公益活動支援事業」受託（緊急雇用事業） •「じぶん基金」プログラム2基金スタート •沖縄NPOデータベース公開 	<ul style="list-style-type: none"> •普天間基地の辺野古移転が白紙に •沖縄県民税の寄附金控除対象法人が拡大 •「新しい公共」円卓会議 •11月 仲井眞知事 再選 •12月 ISO26000発効 •3/11 東日本大震災
2011 H23	<ul style="list-style-type: none"> •公益財団法人化 •「寄付と助成のプログラム」スタート •H23「沖縄県新しい公共支援事業」受託 •クレジットカードにて寄付決済サービス開始 •PSTをクリアし、税額控除認定を受ける 	<ul style="list-style-type: none"> •6月 新しい市民公益税制が成立 •6月 改正NPO法が成立 •7月 なでしこジャパン FIFA杯優勝 •10月 世界のウチナーンチュ大会
2012 H24	<ul style="list-style-type: none"> •H24沖縄県「新しい公共支援事業」受託 •「世界若者ウチナーンチュ大会支援基金」設置 •カンパイチャリティを開催 •「沖縄まちと子ども基金」設置 	<ul style="list-style-type: none"> •4月 新認定NPO法人制度スタート •5月 沖縄の本土復帰40周年 •8月 ロンドンオリンピック •11月 那覇市長に翁長氏が4選 •12月 衆議院選挙で自民党圧勝 •2月 浦添市にNPO出身の市長が誕生
2013 H25	<ul style="list-style-type: none"> •4月 事務局をタイフーンfm内に移転 •6月 国交省 事業受託 •7月 累積寄付受入額 2000万円を突破 	<ul style="list-style-type: none"> •4月 インターネット選挙解禁 •6月 富士山が世界遺産に •11月 旧民法法人の移行特措期間終了

略年表 (2014-2016)

年度	みらいファンド沖縄の主なできごと	社会の主なできごと
2014 H26	<ul style="list-style-type: none"> ・6月「寄付と助成のプログラム」を再編し公募開始 ・6月一般社団法人全国コミュニティ財団協会設立、設立時九州ブロック理事として参画 ・3月全国コミュニティ財団協会海外招聘事業フォーラム・研修「米国のコミュニティ財団100年の歴史に学ぶ」 	<ul style="list-style-type: none"> ・4月 消費税増税（8%に） ・5月 日本創生会議が自治体の896が消滅の危機にあると発表。地方消滅（通称増田レポートの発表） ・9月 第2次阿部内閣にて、地方創生担当大臣に石破茂とまち・ひと・しごと創生本部を設置。 ・9月 FIFAワールドカップ ブラジル大会 ・12月 沖縄県知事に翁長雄志氏が当選 ・2月 介護保険制度の改正（要支援1，2が予防給付の対象除外に）
2015 H27	<ul style="list-style-type: none"> ・10月 じぶん基金 宮里大八国際交流基金を設置 ・12月 寄付月間、全国規模の寄付推進の取り組み、寄付月間推進委員として、沖縄で寄付推進に取り組む ・1月 遺贈寄付 第1号を受け入れる ・2月8日 みらいファンド沖縄5周年記念イベント ドネーションパーティ&サンクスデー ・琉球大学、名桜大学とCOC+円卓会議開催（県内5カ所） 	<ul style="list-style-type: none"> ・普天間基地の辺野古移転が白紙に ・沖縄県民税の寄附金控除対象法人が拡大 ・「戦後70年談話」 ・9月10日 関東・東北豪雨 鬼怒川氾濫 ・9月19日 参院本会議で“安保法”可決 ・11月13日 「パリ同時多発テロ」発生 ・12月 寄付月間が、寄付を推進する全国的な取り組み が初めておこなれた。 ・2月 国勢調査で初めて人口減少 1920年の調査開始以来初めて。
2016 H28	<ul style="list-style-type: none"> ・7月 沖縄県が、県内の深刻な子どもの貧困の解決に向けて 沖縄子ども未来県民会議を設置 事業部会の委員として参画 ・11月 マニフェスト大賞 優秀賞 受賞 ・11月 全国レガシーギフト協会 設立総会（みらいファンド沖縄加盟） ・税額控除認定 更新 ・1月 新崎盛暉平和活動奨励基金 を設置 ・累積寄付受入額 5000万円を突破 	<ul style="list-style-type: none"> ・1月 日銀がマイナス金利政策を導入したことにより、 長期金利が過去最低を更新 ・4月14日、16日 熊本地震、初めて震度7が2回観測 ・5月 伊勢志摩サミット オバマ米大統領が広島訪問 ・12月2日 休眠預金活用法成立 ・1月 ドナルド・トランプの第45代アメリカ合衆国大統領就任

略年表（2017-2019）

年度	みらいファンド沖縄の主なできごと	社会の主なできごと
2017 H29	<ul style="list-style-type: none"> •11月 助成財団シンポジウム（助成財団センター）と実施 •1月 沖縄県で初めて遺贈寄付研修をNPO向け、土業向けに実施 •3月 沖縄県が寄付月間2017で賛同パートナー特別賞を受賞 •3月 1年間で16回の円卓会議を開催（過去で最高件数） 	<ul style="list-style-type: none"> •1月 トランプ大統領就任、米国第一主義を掲げる •3月 特定非営利活動促進法 成立20周年 •7月 都議選で都民ファーストの会が躍進 •9月 桐生 9秒98 日本人初の10秒台突破 •10月 第48回衆議院選挙 自民党が3分の2議席
2018 H30		
2019 H31		